

## 23 専用アプリで調達業務を効率化するとともに、用途別のチャットで汎用的な業務も効率化【静岡県湖西市】



- 仕様書の作成に特化したアプリを活用して調達業務を効率化
- 用途に応じて関連するデータを参照する仕組みを設け、汎用的な業務も効率化

## 事業の概要

- 業務特化型の生成AIとして、IT調達仕様書の自動生成を可能とするアプリ（「プロキユアテック」）を導入し、調達仕様書の作成に関する事務を効率化するとともに、アプリに調達仕様書の複数の素案を提示させることで、仕様書の質を向上。
- LGWAN経由でChatGPTを利用できるようにした上で、「My GPTs<sup>\*1</sup>」を活用し、議会答弁作成をはじめ、庁内で利用するシステムの操作や随意契約についての問合せ等の用途ごとに、関連するデータセットを参照してその分野に特化した回答を出力させる仕組みを設け、文章作成等の汎用的な業務の効率化も推進。

\*1 My GPTs：ChatGPTのカスタマイズ機能で、プロンプトの登録や文書の取込等により、目的別のChatGPTを作成することができる機能

## IT調達仕様書の自動生成のイメージ

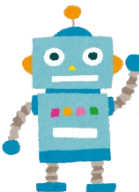
職員が数頁のメモを  
所定のフォーマットで作成

生成AIが数十頁の資料を  
自動作成

【担当職員】



- 調達の背景・目的
- 現状のシステム・業務の内容
- 目指す姿 等



【生成AI】

デキマシタ



RFI



プロポーザル  
実施要領

調達仕様書

## My GPTsの利用イメージ

- 職員は用途に合ったチャットを選択して利用
- チャットごとにその分野に特化したデータを参照する仕組み  
(例：議会答弁作成チャットは、過去の議事録を参照する)

## My GPTs



議会答弁案作成のチャット

※ 質問通告書をアップロードすると、過去の議事録に基づき議会答弁案を作成



庁内で利用するシステムの操作についてのチャット

※ 文書管理システム、財務会計システム、市民向けwebフォーム作成システム等、システムごとにチャットを作成



随意契約のサポートチャット

※ 市の随意契約ガイドラインや法律に基づいた契約、契約の稟議書作成をサポート

## 23 専用アプリで調達業務を効率化するとともに、用途別のチャットで汎用的な業務も効率化【静岡県湖西市】

## 事業効果



- IT調達仕様書の自動作成アプリにより、IT調達仕様書の作成にかかる時間が5分の1程度に削減された。
- アプリを活用した仕様書作成により、市ウェブサイトでのRFI（情報提供依頼）までの時間も短縮した。集めた情報をもとに比較・検討を行う時間的な余裕ができたことで、仕様書の質の向上にもつなげることができた。
- ChatGPTの活用により、100時間/月相当の業務時間が削減されたと推定されている。
- 議会答弁案作成の作業負荷は、従来の3分の1になっている（職員アンケート調査より）。
- 生成AIを導入したことで、デジタル技術について専門知識がない職員でも、担当業務のDXを進められるようになっていく。

## コスト

※主にシステム導入等  
に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	－円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	407千円
(内訳)	－円	(内訳) ・AIゲートウェイサーバ利用料 ・ChatGPT Plus利用料	264千円 143千円
(備考)		(備考) プロキユアテックについてはトライアル利用のため無償	



## スケジュール

検討開始から導入までの期間 7か月

## スケジュールの内訳

R3.12～R4.5	DX部門のみ試用／庁内調整
R4.6	全庁的にトライアル利用／ プロキユアテック利用開始
R4.7～R6.6	LoGoAIアシスタント運用
R6.7～	LGWAN経由でChatGPTを利用



## サービス提供事業者等

サービス提供事業者	合同会社川口弘行
サービス名	サニタイザーAIゲートウェイ プロキユアテック
運用形態	パッケージ製品をクラウド環境で運用
その他 参画主体	－



担当部署 湖西市企画部DX推進課

電話 053-576-4909

メール edp@city.kosai.lg.jp

## 23 専用アプリで調達業務を効率化するとともに、用途別のチャットで汎用的な業務も効率化【静岡県湖西市】



(総務省)

**生成AI導入の経緯・きっかけを教えてください。**

本市では、**慢性的な人手不足や業務負担の増加が課題**となっていました。以前より、RPAなどの業務効率化ツールを導入していたものの、ツールの学習コストや実装のためのヒアリングなどに時間がかかり限定的な利用であったため、**汎用的に誰でも利用できるツールが欲しい**という潜在的なニーズがあり、**令和4年度より生成AIの試験導入を開始**しました。



(湖西市)

**生成AIの普及を進めるにあたり、工夫した点を教えてください。**

**生成AIを全庁的に普及していくためには、幹部職員の理解が重要である**と考え、実際に使用してもらうことを意識しました。具体的には、主に幹部職員が担当する議会答弁案の作成に生成AIが有用であることを伝え、アップロードした質問通告書をもとに、必要に応じて追加の資料も学習させながら、答弁案を生成させています。最終的には人為的な修正も加えることで、**作業に係る負担を軽減するとともに、高い品質のアウトプットを生成**できています。

**取組の成果を教えてください。**

生成AIに入力した文字数と生成された文字数とを比較・分析した推定では、**月間100時間程度の業務時間の削減効果**が生まれています。議会答弁案の作成についても、職員へのアンケート調査では、**作業時間が3分の1**になったという回答もありました。



また、IT調達仕様書の自動生成を可能とするアプリ（「プロキュアテック」）については、条件や業務の背景を入力することで、生成AIが自動で調達仕様書を作成するため、特定のベンダーに依存することなく、**現状の課題感に基づいた調達仕様書の作成が**できている実感があります。

**今後の展望や課題を教えてください。**

生成AIの利用に当たっては、個人情報や機密情報をプロンプトに入力しないことをガイドラインで定めていますが、今後、**安全性が確保されたサービスが出てきた際には、さらなる活用を検討**したいと考えています。



また、**生成AIをはじめとしたデジタル技術の活用による業務効率化の取組を、採用活動におけるアピールポイント**にすることも考えています。

【参考情報】 静岡県湖西市人口：5.8万人（令和6年1月1日現在）

関連URL：湖西市ホームページ（<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/index.html>）